

外洋特別規定の遵守に関して

Trans-Sagami Yacht Race および石廊崎レースには、**外洋特別規定 (Offshore Special Regulations)** が適用され、**Trans-Sagami Yacht Race にはカテゴリ 3** が、**石廊崎レースにはカテゴリ 4** 適用されています。参加艇は、この**規定の遵守が参加資格**とされています。

なお、規定の一部はレース公示で変更されています。

1. 規定本文に従って実艇を確認すること

申告書は記入することが目的ではありません。 規定で要求されている必要な備品や設備が適切に装備されているかを、**実艇を確認して記入する必要があります。**

申告書は規定本文の省略であり、かつ全項目が網羅されていません。規定の内容理解および確認においては**規定本文を用いての確認**が必要です。

2. インспекション

申告書は参加艇が規定を遵守しているかどうかを確認する一手段です。また、**レース主催者は参加艇が規定に従っているか随時検査する権利**があります (OSR 2.03)。備品においては単に搭載しているだけで無く、その設置位置が指定されているもの (ライフブイ・ヒービングライン・ジャックスティなど) もありますので、レース中は正しい位置に設置ください。

外洋特別規定 (Offshore Special Regulations) は、ヨットレースの**国際規定**です。レースに参加するにあたっての**備品・設備・トレーニングの「最低基準」**です (OSR 1.01.1)。あくまでも**「最低基準」**であり、**艇や乗員の安全を保証するものではありません** (OSR 1.01.2)。

本レースに参加するにあたり、規定で定められた備品や設備以外に自艇に必要と考えるものがあれば自己の責任にて準備する必要があります。

外洋特別規定 カテゴリ 3 規定本文 ↓

http://www.jsaf-anzen.jp/pdf/OSR2022_v8_Mo3_J_0224.pdf



外洋特別規定 カテゴリ 4 規定本文 ↓

http://www.jsaf-anzen.jp/pdf/OSR2022_v8_Mo4_J_0224.pdf



申告書はそれぞれのレース専用を用意しています。それぞれの申告書を用いてください。

Trans-Sagami Yacht Race 参加艇 = モノハル・カテゴリ 3 【トランスサガミ専用】

石廊崎レース参加艇 = モノハル・カテゴリ 4 【トランスサガミ専用】

モノハル・カテゴリー 3 主な注意点

外洋特別規定 (Offshore Special Regulations) モノハル・カテゴリー 3 において特に注意すべき点を以下に記します。あくまでも規定の一部であり、かつ以下の説明は要約ですので、詳細の確認は規定本文で行ってください。

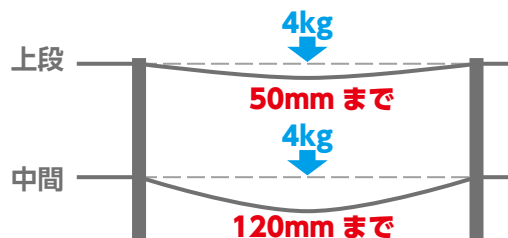
申告書 (フォーム) はモノハル・カテゴリー 3 【トランスサガミ専用】 を用いてください

A ライフライン

ライフラインのたわみ OSR 3.14.1 i)

4kg の荷重をかけた時に、
上段は 50mm、中間は 120mm まで

素材はステンレスワイヤー OSR 3.14.6 a)



B 通信設備 OSR 3.29 以下 2 点が必要。

1 船舶用トランシーバー OSR 3.29.1 3.29.2

25 ワット VHF または **衛星電話**
要マストヘッドアンテナ
本レースでは、船舶用トランシーバーとして可としている (レース公示 1-4. a)

2 ハンディ VHF OSR 3.29.5

防水仕様

他に、レース公示で携帯電話または船舶電話 2 台の搭載を要求している (レース公示 4-1. e)。

OSR3.29.13 AIS トランスポンダーの搭載はレース公示で推奨に変更 (レース公示 1-4. b)

C ジャックスティ OSR 4.04.1

搭載してるだけでは駄目。デッキ上、左右両側に独立して設置されている。

D 消火器 OSR 4.05

1 船消防カバー：1 個 OSR 4.05.1
炊事設備近辺に設置

2 消火器：2 個 OSR 4.05.2
異なる位置に設置

E アンカー OSR 4.06.2

無改造のアンカー：2 個 LOA8.5m (28 フィート) 以下の艇は 1 個。

F 応急操舵装置 OSR 4.15

操舵装置が「ラット (シングル)」の艇は非常用ティラーが必要 OSR 4.15.1

全ての艇で「ラダーが使用できない場合」の操舵方法を明示する必要 OSR 4.15.2

G ライフブイ・ヒービングライン・リカバリースリング OSR 4.22

以下 3 点の落水救助対応備品が必要。

1 ライフブイ OSR 4.22.3

自己点火灯・笛・ドロークの 3 点付
ヘルムスマンの手の届く位置に設置。



落水者に投げて、落水者が浮き輪として、
または落水地点特定に使用。
艇には結びつけない！

2 ヒービングライン OSR 4.22.7

直径 6mm 以上。長さ 15-25m。
コクピットですぐに使える位置に設置。



落水者を艇に引き寄せる、または艇上
に戻す時に使用。
一端を艇には結びつけておく！

3 リカバリースリング OSR 4.22.8

- a) 紐：LH の 4 倍または 36m 以上
- b) 浮力部：浮力 90 ニュートン以上
- c) 強度：乗員を吊り上げる



H 信号焰 OSR 4.23 以下 2 種 6 個の信号焰が必要。

1 Red Hand Flares : 4 個

日本名「信号紅炎」として売られている。SOLAS LSA コード適合品であること。

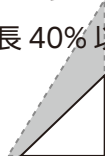
2 Orange Smoke Flares : 2 個

日本名「発煙浮信号」として売られている。SOLAS LSA コード適合品であること。

I 荒天用セール OSR 4.26 以下 2 点の荒天用セールが必要。

1 ストームトライスクル または メインリーフ OSR 4.26.1

ラフ長 40% 以上



2 ヘビーウェザージブ
OSR 4.26.2



J ライフジャケット OSR 5.01.4

年に 1 回は、点検が必要。

K ハーネス用テザー OSR 5.02

ISO 12401 適合品 OSR 5.02.2

1m 以下でフックできる全乗員分のテザー OSR 5.02.3

ISO 12401 適合品で 1m 以下の 1 本テザーの商品は、
市販されている種類が少ない。

艇側のクリップが 2 個あって、中間フック付きのテザーは
多くのメーカーから市販されている。

全長 2m 以下だが 1m 以下でフックできない



Single clip stretch 2 metres
DA 5120/2

Double clip stretch 2 metres
DA 5120/2

短い方が 1m 以下でフックできる



Double clip stretch 2 metres
DA 5120/2

Single clip stretch 2 metres
DA 5120/2

L 艇上での定期トレーニング OSR 6.04

年に 1 回は、次の訓練が必要 a) 落水救助 b) 艇体放棄

モノハル・カテゴリー 4 主な注意点

外洋特別規定 (Offshore Special Regulations) モノハル・カテゴリー 4 において特に注意すべき点を以下に記します。あくまでも規定の一部であり、かつ以下の説明は要約ですので、詳細の確認は規定本文で行ってください。

申告書 (フォーム) はモノハル・カテゴリー 4 【トランスサガミ専用】 を用いてください

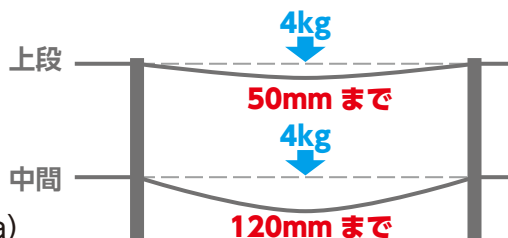
A ライフライン

ライフラインのたわみ OSR 3.14.1 i)

4kg の荷重をかけた時に、

上段は 50mm、中間は 120mm まで

素材はステンレスワイヤーか HMPE OSR 3.14.6 a)



B 通信設備 **1** ハンディ VHF 防水仕様 OSR 3.29.5

他に、レース公示で携帯電話または船舶電話 2 台の搭載を要求している (レース公示 4-1. e)。

C 消火器 OSR 4.05

1 船消防カバー : 1 個 OSR 4.05.1
炊事設備近辺に設置

2 消火器 : 2 個 OSR 4.05.2
異なる位置に設置

D アンカー OSR 4.06.2 無改造のアンカー : 1 個

E ライフブイ・ヒービングライン・リカバリースリング OSR 4.22

以下 2 点の落水救助対応備品が必要。

1 ライフブイ OSR 4.22.3
自己点火灯・笛・ドロークの 3 点付
ヘルムスマンの手の届く位置に設置。



落水者に投げて、落水者が浮き輪として、または落水地点特定に使用。
艇には結びつけない!

2 ヒービングライン OSR 4.22.7
直径 6mm 以上。長さ 15-25m。
コクピットですぐに使える位置に設置。



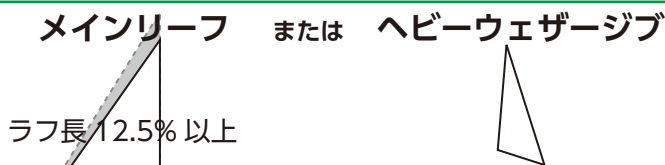
落水者を艇に引き寄せる、または艇上に戻す時に使用。
一端を艇には結びつけておく!

F 信号焰 OSR 4.23 以下 1 種 2 個の信号焰が必要。

1 Orange Smoke Flares : 2 個
日本名「発煙浮信号」として売られている。SOLAS LSA コード適合品であること。

G 荒天用セール OSR 4.26.1

次のいずれかが必要



H ライフジャケット OSR 5.01.4

年に 1 回は、点検が必要

I 艇上での定期トレーニング OSR 6.04

年に 1 回は、次の訓練が必要 a) 落水救助 b) 艇体放棄